



登場  
ページ

## 今週の専門用語

### 法人税率の引き下げ財源

近年の法人税率引下げのたびに大きな財源となってきたのが、欠損金の繰越控除制度の控除上限と、研究開発税制の「総額型」における法人税額の控除上限の引下げだ。欠損金については、大法人を対象に平成23年度改正で80%、27年度改正で65%、28年度改正で50%へと、研究開発税制の総額型の法人税の控除上限は、平成27年度改正で30%から25%へと引下げられている。しかし、コロナ禍の下で迎える令和3年度税制改正では、再びこれらの引上げが議論される可能性がある。

### 広大地の評価（改正前の評価通達24-4）

「広大地の評価」通達は、「地積規模の大きな宅地の評価」（評価通達20-2）が新設されたことに伴い廃止された。平成29年度税制改正大綱で「広大地の評価について、現行の面積に比例的に減額する評価方法から、各土地の個性に応じて形状・面積に基づき評価する方法に見直すとともに、適用要件を明確化する。」とされ、具体的には、地区区分や都市計画法の区域区分等を基にすることにより「定量的（絶対的）」なものとして、適用要件の明確化が図られている。

### 臨時改定事由

事業年度開始の日から3か月までにされた定期給与の額の改定時には予測が難しい偶発的な事情等による定期給与の額の改定であり、利益調整等の恣意性がないことから定期同額給与とされる定期給与の額の改定として取り扱われる。役員の職制上の地位の変更や、その役員の職務の内容の重大な変更などのやむを得ない事情が該当する（法令69①1-1）。臨時改定事由かどうかは、役員の職務内容など個々の実態に即して判断される。役員が病気で入院したことなども臨時改定事由に該当する。

10

ページ

12

ページ

18

ページ

From  
編集室

◆最近よく将棋のタイトル戦（名人、王位、叡王など）がニュースになる。7月には藤井聡太棋聖（王位をとれば二冠）が誕生。最年少タイトルの記録を更新した。藤井棋聖は終盤に強く、プロ棋士も参加する詰将棋解答選手権で5連覇中という（今年は新型コロナの影響で中止）。◆終盤力は税制改正作業にも求められるようだ。利害が複雑に絡んだ改正が行われた際、議論終盤である担当者は「後は詰将棋を解くだけ」と語った。◆将棋の解説では「（盤面全体を見る）視野の広さ」「構想力」への言及もある。税制改正の難題では曲折も経ることも多く、最善手を探る点など通じるところがあるのかもしれない。（TN）

週刊T&Amaster 第846号

2020年8月24日発行（毎週月曜発行）

【編集人】南館茂雄

【発行人】村田幸雄

【発行所】株式会社ロータス21

〒104-0045 東京都中央区築地2-11-11 6F

【販売】新日本法規出版株式会社

〒460-8455 名古屋市中区栄1-23-20

【お問合せ】販売・広告 (052)211-1525

記事内容 (03)5281-0020 ta@lotus21.co.jp

最新号を含む見本誌を無料で進呈しております。下記よりご請求下さい